

幼保一体化事業整備後の跡地利用について



市村 香 議員

問 幼保一体化事業で坂戸幼稚園が岩瀬保育所に、北部保育所が東部保育所に、やまと保育所はやまと幼稚園に統合され、4月の開園に向けて工事が進んでいると思う。そうすると、坂戸幼稚園と北部保育所、またやまと保育所が廃止に

なり、その後の施設や跡地等はどうなるのか。有効利用についての考えがあれば伺う。

答 保健福祉部長 平成28年4月の認定子ども園の開園に向け、やまと幼稚園、岩瀬保育所、岩瀬東部保育所の改修工事を行っている状況にあります。統合により廃止となる3施設及び跡地の利活用についての計画はまだですが、やまと保育所、坂戸幼稚園は建設時に国庫補助を導入していますので、法律の規定により、補助金返還等がないよう地域住民の意見を聞きながら有効活用ができるよう検討したいと考えています。



やまと保育所

問 今回、特に大和(羽田)地域の方から、やまと保育所を高齢者の利用の場としてほしい要望があるが、現状はどうなのか。

答 保健福祉部長 やまと保育所は、まだ耐用年数もあり、補助金の返還がないよう近隣地域の方の意見を尊重し、活用できるよう検討していきます。

観音川流域県営圃場整備事業について

問 地権者から約束した外周工事が終わっていないということと問い合わせがあったが、分かる範囲で伺う。

答 建設部長 土地改良外周道路については、道路補修として区長さんから建設課に、要望書を提出していただければ早急に対応したいと考えております。

自然災害等の対策について



萩原剛志 議員

河川の洪水対策について

問 9月に発生した関東・東北豪雨は、常総市をはじめと基大な被害をもたらした。市内の桜川などの河川の洪水対策を伺う。

答 建設部長 桜川の改修事業は昭和13年の水害を契機に始められ、計画的に進められていますが、進捗度が上がりません。今後も県に対し、改修事業の速度を上げていただくよう陳情・要望

活動を強く進めていきます。

洪水ハザードマップについて

問 河川の洪水等に關するハザードマップを整備し、情報提供を行っていく必要があるのではないかと。市民生活部長

答 市民生活部長 桜川市には水防法で定める洪水予報河川がなく、国・県からは河川の浸水想定区域が示されていないため、桜川をはじめとする中小河川の洪水ハザードマップは作成していません。洪水ハザードマップを市で独自に作成するには、浸水想定区域等の調査に多大な費用がかかることから、洪水ハザードマップの作成について

は慎重に検討していきます。

問 常総市では被災者支援システムが未導入で、防災科学技術研究所のシステムを活用したと伺ったが、桜川市としても被災者支援システムを導入してはどうか。

答 市民生活部長 県として各自治体が防災科学技術研究所の支援を受けられるように、体制の構築を進めると伺っています。国や県と連携し、災害発生時には迅速にシステムの利用等の支援を受けられるように協力体制の強化に努めていきます。

イノシシ対策について



谷田部由則 議員

問 限られた捕獲隊の人数で効果的にイノシシの捕獲を進めるためにも、わなが動作したら携帯電話で受信できる装置や、センサーカメラがついた箱わなを導入したらどうか。また、イノシシ対策の専門部署についてはどう考えているのか、お伺いしたい。

答 市長 これまでの捕獲隊による捕獲とは別に、来年度から農林課内にイノシシ被害対策室、これは仮称ですが、設置する

予定で予算編成を進めています。その中で、箱わな用センサーシステムを装備した箱わな等も購入し、捕獲体制を強化していきたいと考えています。

問 対策室は、何人の職員で対応する予定なのか、業務内容もお伺いしたい。

答 経済部長 行政専門員1名、事務員2名の体制で検討を進めています。これまでの有害鳥獣捕獲隊による駆除とは別に、有害鳥獣被害相談の実施や箱わなの設置など、捕獲と防犯の強化を図っていきたいと考えて協議を進めています。

問 箱わなも導入予定ということだ



が、これは市役所に市民から依頼があれば設置してもらえるのか。また、箱わなの数はどれくらいを予定しているのか、お伺いしたい。

答 経済部長 箱わなの場合の対応については、対策室において場所へ赴き、被害状況の確認や聞き取りを行うなど現場対応を実施したいと考えています。来年度予算の関係もありですが、担当課で要望している箱わなは10基、箱わな用センサーシステムは3台で積算を進めているところです。

病院、大和駅北開発、イノシシ問題



榎戸和也 議員

新中核病院

問 筑西市ではボーリング調査で有効な支持層が出ていないという。N値はいくらか。

答 市長公室長 支層は出ていないこと。N値についての確認はしていません。

桜川市立病院

問 指定管理予定の山王病院との具体的協議内容や、開院に向けた手順を伺う。

答 市長公室長 両市協議での病床数等の確定後、知事の開設許可・病院設置条例の制定・指定管理者の指定等を行っていきます。

用地取得は、28年3月までを予定しています。

大和駅北開発

問 6月の1億余円の補正予算提案時、市長は、市のお金を入れるのは商業施設が来る長方形のみで、民間業者が開発する高森側には市のお金は入れないとしていた。

しかし今、高森側の27ヘクタールを5億円で開発公社が買い、うち20ヘクタールを公共用地として市が整備するという。話がわかるか。

は慎重に検討していきます。

問 常総市では被災者支援システムが未導入で、防災科学技術研究所のシステムを活用したと伺ったが、桜川市としても被災者支援システムを導入してはどうか。

答 市民生活部長 県として各自治体が防災科学技術研究所の支援を受けられるように、体制の構築を進めると伺っています。国や県と連携し、災害発生時には迅速にシステムの利用等の支援を受けられるように協力体制の強化に努めていきます。

しくないか。

答 市長 民間でやることに市がお金を出さないというのは、一切変わっていません。民間業者による住宅造成地6〜7ヘクタールには、市はお金を出しません。道路・水路・公園・古墳・駅前広場・病院・市営農園等には出します。

問 事業計画や収支・返済計画もなく、1枚の漫画絵をもとに5億円の買収費を出すのはやめるべきでは。

答 市長 細かい開発計画は未定ですが、今、議決してほしい。

イノシシ問題

問 イノシシ被害対策の充実策を伺う。

答 経済部長 各階層の方の参加により、対策協議会の充実を図っていきたく